

よ ろ せ

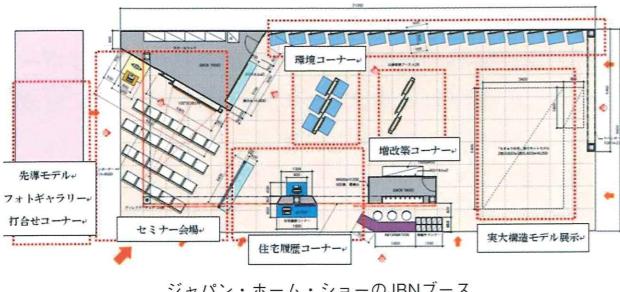
第31回ジャパンホームショー2009に出展

11月11日(水)~13日(金)の3日間(10:00~17:00)

東京ビックサイト(有明・東京国際展示場)・東ホールで開催されます。

住宅に関するものとしては、わが国では歴史もあり、最大規模の展示会です。今年は700社/1,100小間、9万人を超える来場者が見込まれています。

・工務店サポートセンターでは、昨年と同様、18小間の展示コーナーで「長期優良住宅」関連の展示、セミナーを行います。実大構造モデルを中核に、構成要素となる建材、機器、納まり、技術などの展示コーナー、既存住宅の耐震・省エネ・バリアフリー改修と増改築、住宅履歴などの展示ブースを計画しています。また、隣接する商談コーナーには、全建連型先導的モデルの完成建物のフォト・ギャラリーも予定しています。



第3回JBN工務店全国大会の開催

11月12日(木)

ジャパンホームショーの会期中日に開催します。展示会の見学とあわせて、皆様の参加をお待ちしています。

・会場 「ル・パルク」ジャパンホームショー展示会場と同じ東ホール2階、17:30~19:00

詳細は、HPにてご案内します。

顧客向けのパンフレット

前号でも紹介した顧客向けのパンフレット「長持ちする家づくりのすすめ」が完成しました。10月の住月間展示会場と「住まいづくりナビセンター(晴海・トリトンスクエア)」に常設配布できるようになりました。

JBN会員には、見本用としてお届けいたしますので顧客説明用にご活用下さい。

A3判一枚半折でA4見開きのカラー・パンフレットです。

100枚単位・3,000円(送料別)にて頒布いたします。詳細は事務局迄お問い合わせ下さい。

顧客向けのパンフ
中開きページ

●発行/お問い合わせ

一般社団法人 工務店サポートセンター

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町12-4 建設国保会館1階

TEL.03-5643-5668 FAX.03-5643-5669

E-mail : jbn@jbn-support.jp homepage : http://www.jbn-support.jp

発行人: 藤澤好一 ©工務店サポートセンター 禁無断転載

協力: 社団法人 全国中小建築工事業団体連合会

刊行物のご案内

「木造建築士」資格研修テキスト

JBN工務店サポートセンターでは、木造建築士を再評価し、長期優良(木造)住宅の扱い手の資格として位置づけ、ちきゅう住宅検査員講習をはじめ、各種講習会を通じて取得をよびかけています。ご活用下さい。

工務店サポートセンター編、刊行・本年5月
定価 3,500円(消費税込)、発行・井上書院

お詫び・工務店サポートセンター監修・編「木造住宅・工事管理の実務」が彰国社からこの秋出版の予定でしたが、長期優良住宅対応の補足作業を組み込んだため、明年はじめとなる予定です。

長期優良住宅マニュアル(I.申請編)

長期優良住宅の適合認定の申請に必要な書類の作成、手続きについてのマニュアルです。

工務店サポートセンター編、刊行・本年5月、A4・210ページ。

長期優良住宅マニュアル(II.建材編)

長期優良住宅の計画・設計の実務に役立てるための建材データベースです。昨年度の全建連型・先導的モデル事業の実績に基づき、使用頻度の高い建材を中心に構成しています。

工務店サポートセンター編、刊行・本年8月、A4・350ページ。

長期優良住宅マニュアル(III.住宅履歴情報編)

長期優良住宅として認定された住宅は、住宅履歴情報の作成、保存が義務づけられます。その仕組み、蓄積・活用のあり方、それらを扱う情報サービス機関の事業などを解説したものです。

工務店サポートセンター編、刊行・本年10月、A4・85ページ。

講習会のご案内

CASBEE戸建評価員養成講習

10月28日(水) 12:30~16:30 於・建設国保会館

増改築相談員資格講習

11月6日(金) 9:00から19:00 於・建設国保会館

木造建築士資格受験準備講座

- ・1月21日(木)
- ・2月25日(木)
- ・3月18日(木)

いずれも9:30~17:30(昼休み12:30~13:30)

受験に備えて、学科4科目(計画・法規・構造・施工)の学習の取組みと手続きなどのガイダンスの講習。

各種講習会のお申し込み

工務店サポートセンターHP→http://jbn-support.jp/

トピックス/研修・講習会よりお申し込み下さい。

募集中

ニュース・ご意見募集

「工務店サポートセンターレポート」では、会員の皆様からの情報を広く募集しています。より良い紙面づくりにご協力下さい。

JBN登録会員募集

全国の工務店の皆様の力を結集するためスタートしたのがJBN(全建連の工務店ネットワーク)です。地域から必要とされ信頼される工務店として、パワーアップを図りませんか?工務店サポートセンターでは、「地域の工務店」を支援します。

第4号発刊にあたって

JBN会員への資料発送は毎月20日としています。この発送資料の中に「本リポートの翌月号」を同封するようにします。そのため第4号は10・11月合併となりました。次の号は2010年1月号として、12月20日には発送する予定です。来年からは前月中の発刊と発送が確実にできるよう努力いたします。(F)

工務店サポートセンター

全建連の工務店ネットワーク
JBN
Japan Builders Network

トピックス
●「長期優良住宅」特集
●委員会報告
●会員団体の活動「愛媛県中小建築業協会」
●ジャパンホームショー案内

レポート

2009
October/November
No.4

発行人: 藤澤好一
©工務店サポートセンター
禁無断転載

10・11
月号

という苦情も聞かれた反省から、実情をふまえた取り組みやすい基本的な実務講習会も開催していくことにしています。その第1弾が下記のセミナーです。(F)



長野会場の様子

「住宅瑕疵担保履行法」10月1日スタート

この法律の施行によって、10月1日以降に引渡しとなる新築住宅は、保険に入るか、供託金を預けることが義務付けられます。これを怠ると、一年以下の懲役もしくは100万円以下の罰金またはその両方が科せられます。

全建連・青木会長が業界としての対応を表明

この法律の施行に先立って、消費者参向のシンポジウム「マイホームを欠陥から守る—住宅瑕疵担保履行法について」が開かれ、青木宏之会長が業界代表のパネラーとして参加しました。

この内容はテレビ、新聞を通じて広く紹介されました。テレビはNHK教育・日曜フォーラム「安心できる住宅政策を考える」(9月20日(日)午後6時からの一時間番組)で放映、また毎日新聞朝刊(9月26日(土))には企画特集として2ページにわたり掲載されました。

青木会長は、「この法律で保険が義務づけられたことで工務店は消費者に安心と安全を売れる立場になった」。「私たちの団体は20年以上も前から、任意の保険制度を利用してきました。実績がある。保険に入っているから安心というより、保険に加入できる建物をつくるので瑕疵はほとんどないので安心下さい」など、工務店の取組み姿勢や制度のメリットなどを訴えました。(F)



検査で使ったチェックシートなどの記録が残ることも住宅取得者の利益

NHK教育テレビ画像より
保険加入のための検査が瑕疵の発生を未然に防ぐ

長期優良住宅説明会-part2 全日程終了

今回は新たに作成した建材マニュアル、住宅履歴情報マニュアルを用いて、制度のあらましと技術的なポイントなど解説するとともに、JBN・工務店サポートセンターの取組みなども説明しました。

横浜会場(9月25日(金))を皮切りに、福岡、神戸、名古屋、盛岡、長野、松山(10月9日(金))まで全国7会場で開催しました。どの会場も定員いっぱいの参加者があり、午後1時から5時までの4時間を説明に真剣に聞き入り、メモをとる姿が見られました。松山会場では、説明が早すぎて行けない

地域工務店のためのセミナー

「長期優良住宅のすすめ」

長期優良住宅の認定が6月から始まり、消費者の関心が高まっています。地域工務店としては、より良い住宅をつくり、長期にわたりしっかり守ることを訴えるためにも、長期優良住宅の特徴やメリット、手続きなどを消費者に対してわかりやすく説明し、理解を深めることができます。

消費者から理解を得るために説明のポイント、長期優良住宅に対する工務店の取り組むための実務と支援の活用についてセミナーを開催します。

工務店の経営者をはじめ、営業・設計・工事管理などの方々に長期優良住宅を薦めて、進めるセミナーをご案内します。

主催/一般社団法人工務店サポートセンター、独立行政法人住宅金融支援機構

日時/平成21年11月19日(木) 13:30~16:30(13:00開場)

会場/すまい・るホール(住宅金融支援機構本店ビル1階)

定員/250名(申込み先着受付)

参加費/無料

プログラム

13:30~13:40 主催者からのご挨拶

13:40~15:00 「長期優良住宅をお客様にご理解いただくために」
住宅金融支援機構 業界団体営業担当部長 本多直巳

同・技術支援グループ長 海野 敦

15:10~16:30 「長期優良住宅の業務を円滑に進めるために」
・長期優良住宅を地域工務店活性化のチャンスに
全国中小建築工事業団体連合会会長 青木宏之・長期優良住宅のための工務店に有利なサポート体制
工務店サポートセンター長 藤澤好一

GREEN PRINTING API
JBN
Japan Builders Network

NON-VOC
Non Volatile Organic Compounds

PRINTED WITH SOY INK
Soybean Oil Ink

Waterless
Printing. Naturally.

FSC
Forest Stewardship Council

GREEN PRINTING API

P-B1000

www.sgs.org

SGS-CDC-200118

© 1996 Forest Stewardship Council

委員会報告

(財) 日本住宅・木材技術センター

「木造住宅のための構造の安定に関する基準に基づく横架材および基礎のスパン表」の整備作業に着手

前月号でも報告しましたが、工務店サポートセンターから「現在のスパン表」の条件に横架材の樹種、および部材の項目の増補、スパンJAS機械等級の追加、またJAS同等の試験によりヤング係数が確認されたものについては使用条件の明示などの検討を要請しておりました。これに対して整備作業に着手した旨の連絡がありました。

環境

●見学会 9月18日(金) 福岡・大野城

委員会に先立って、エコワーカス(株)の大野城モデルハウスを見学しました。遠方にもかかわらず参加者は18社35名でした。このモデルハウスは、地域の特性を活かした長寿命の住宅の普及を目的とした国土交通省の平成20年度「地域住宅モデル普及促進事業」に採択されたものです。国の補助を受けて建設され、8月末にオープンしたばかりです。

ハイブリッドエコハウスとネーミングされただけあって盛り沢山の省エネ設備が装備されています。太陽光発電・OMソーラーシステム・地冷熱利用採涼換気システム・風力発電・電気自動車充電対応などで、基本仕様だけでも2013年の総合省エネ基準達成率は130%になると説明でした。ま

た、使用された木材は森林認証(SGEC)による「産直木材流通システム」から供給されたものです。(小林)



●委員会 9月18日(金) 福岡

その後、安成工務店へ移動して行われた。顧客向けにわかりやすい算定用Webプログラムなど、省エネ法の「住宅事業建築主の判断基準」を戸建て注文住宅を手がける工務店として、整備に取り組み、とりまとめの作業を進めることを申し合われた。



次回は、委員各社が資料を持ち寄り、検討することになった。(小林)

増改築

●委員会 9月8日(火)

長期優良住宅先導的モデル事業・既存住宅等の改修部門への応募内容について説明を受け、対応について意見交換を行った。この提案のために整備してきた「全建連・木造軸組住宅既存改修指針」、「改修工事記録書」(仕様確認型)の補強、関連して担い手研修と資格(ちきゅう住宅検査員S・Jなど)についても体制増強の方針を確認した。採択プロジェクトの決定時期は、11月上旬の予定。

国土交通省「高齢者居住安定化モデル事業」第2回募集への応募について説明を受け、バリアフリー改修工事の推進につながる手法と部材・機器類のデータベースの整備と事例集の拡充を目標に提案書の作成をセンター長に一任した。これの採択決定は来年1月の予定。

●改組準備会 9月30日(水)

委員会メンバーの増強と体制強化に向けて協議し、新しい委員長に玉置敏子氏を選任した。新体制の委員会を10月30日(金)に開催することにした。委員会によって評価され、その結果を踏まえて国土交通省が採択を決定します。採択プロジェクトの決定時期は、11月上旬の予定です。(F)

次世代

●委員会&見学会 「タケワキ住宅建設」

当委員会主催のセミナー「長く住み続けられる家とは」でパネラーを務める竹脇社長(タケワキ住宅建設)の家づくりを見学した。



見学中のメンバー

東京からほど近い千葉県松戸市、この地で国産材をふんだんに見せる合理的な家づくりを徹底して手がけている。地域の人達が一目見て「タケワキ住宅建築の家」だとわかるような差別化がきちんと出来ているという印象を受けた。

数件現場を案内していただきながら最後にモデルルーム兼ご自宅に到着し、1時間ほど11月のセミナーについて協議。4月から計画してきたセミナーもあと2ヶ月ということで、当委員会M相談役も始終熱弁をふるうなど、力が入ってきた。

今回、自らマイクロバスを運転し、渋滞の中を現場の案内と送迎をして下さった竹脇社長、お疲れさまでした。(鈴木晴之)

●開催案内

「一般消費者向けセミナー&相談会 11月7日(土)」

セミナー 13:00~15:30
(定員約100人)

相談会 15:30~17:30

会場: 住まいづくりナビセンター
(晴海・トリトンスクエア)
<http://sumanavi.info/>



案内ポスター

会員団体の紹介

「一般社団法人 愛媛県中小建築業協会」

「ちきゅう住宅」の普及促進に多大の実績

住宅瑕疵担保履行法が10月1日から施行され、保証資金の確保が義務化されました。全建連は「ちきゅう住宅」という品質水準を有する団体として任意の住宅保証保険制度の特典を受けてきました。この特典は新しい「まもりすまい保険」でも「ちきゅう住宅」のしくみは引き継がれます。

この「ちきゅう住宅」の普及促進に積極的に取り組む会員団体として代表的存在が愛媛県中小建築業協会です。昨年、全建連全体の申請件数は1,657件でした。会員団体ごとに受け付け、本部で書類審査し、住宅保証保険がかけられた住宅件数です。愛媛県中小建築業協会はそのうちの1割強の181棟で、岡山、富山に次いで三位でした。協会では県内の住宅業界の一丸となる組織化を目指しており、その組織拡充強化対策事業に住宅瑕疵担保履行法の施行にともなう会員数拡大を大きな旗印としています。これに今年からは長期優良住宅への取組みが加わりました。

愛媛県中小建築業協会のHP

会誌「HOUSINGファミリー」は年4回の発刊、あわせて協会のホームページから会員(1,903事業所)へきめ細かな情報発信をしています。ホームページにはちきゅう住宅を手がけている130の企業リストも紹介されており、消費者向けの情報提供にもなっています。地域の建築業界の振興と発展のための総合的なサポートのための事務局体制は10名の専従者が組織的にさまざまな支援業務にあたっています。(F)

注) 前月号までは「支部活動の紹介」でしたが、全建連の組織には愛媛県中小建築業協会のように全県でまとまった単一組織からいくつもの支部を組織した連合体までさまざまなもの、これらを全建連の呼称にならい「会員団体の紹介」と改めました。

国産材利用拡大

●委員会 9月15日(火)

・10月10日開催の研修会内容を次のように決定した。主旨 長期優良住宅の申請を受けるためには国産材利用が必須条件となったことを受け、「勝ち抜く工務店の国産材利用のポイント」を講演とパネルディスカッションにより明確にする。場所 東京中央木材市場(浦安)。講演者、パネラーを人選し、広報することを決めた。合わせて国産材の展示と情報交換のセクションも設ける。

・11月17日には、長期優良住宅に対応する紀州・(株)山長商店の山林とプレカット工場見学会を行い、国産材についての理解を深めることになった(詳細下記参照)。

・これらの活動を通じ、工務店だけでなく、様々な業種を対象とした研修会を行っていくことを申し合わせた。(山田)

●研修会第2弾 10月10日(土) 東京中央木材市場

「長期優良住宅-国産材利用の現状と課題」がテーマの第一部では、次世代の主要メンバーをパネラーとして招き、長期優良住宅の全建連モデルが国産材100%利用が条件であることをうけ、申請時のポイント、国産材利用の現状と今後の展開について、基調講演とパネル・ディスカッションが行われました。参加した42社55名の材木供給業者、工務店、設計者は真剣に耳を傾けていました。

設計者、工務店、製材業者、林業家など国産材に携わる人々の、いっそうの歩み寄りが期待されます。

その後、市場にて国産材の展示、商品紹介が行われました。全国各地から国産材流通事業者(山長商店、日の木、

ソレックスカントウ、マルダイ、クボデラ、マルヒ製材、東京中央木材市場買方組合)の展示に、参加者からの相談に熱心に対応していました。



パネル・ディスカッションの様子

工務店にとっては、国産材の特徴などの情報を的確に顧客に説明し、使用できる能力を持つことが差別化につながり、大手住宅メーカーを超える競争力となりそうです。(小林)

●開催案内 「研修会 第3弾」

「百聞は一見に如かず」 国産材製材工場見学会

-長期優良住宅完全対応! (株)山長商店を訪ねて-

・11月17日(火) 10時 山長商店本社 集合

・和歌山県田辺市新庄村377 TEL: 0739-22-2605

・山長所有山林、伐採搬出現場、製材・プレカット工場を見学。その後、本社会議室にて質疑応答の後、現地解散(17時30分ごろ)。

・定員50名(先着順)、1社3名まで。

長期優良住宅先導モデルでは、国産材の信頼できる調達先の確保が重大課題です。今回の研修では当委員会が推薦する企業のひとつ和歌山県(株)山長商店を見学し、国産材についての理解を深めます。多数のご参加を期待します。詳細は事務局迄お問い合わせ下さい。

主催 (財)日本住宅・木材技術センター

共催 全建連・工務店サポートセンター・国産材利用拡大委員会

協力 (株)山長商店